

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2009

12

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年11月25日発行
通巻132号



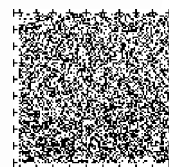
三重県内の市民活動・ボランティア団体の分布をイメージしたものです。
【出典:当センターHP Mなび】

ひとり勝ち

NPOの姿は千差万別。活動の内容を見ても、財政事情を見ても、行政との関係を取ってみても全く縁なく活動しているところも多い。中には助成金をたくさん獲得している団体も、行政からの委託費を受け取っている団体もある。だからと言ってどれがよくて、どれがよくないという話にはならない。しかるに先日、あの団体はひとり勝ちしている、という声を耳にした。

NPOの活動に、勝った負けたという言い方はふさわしくないのは当然だろう。あらためて、NPOに身を置く者としていい世界だと思う。

右の様子はSPコードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

認証申請団体

●認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)ぺがさす(2)水谷 久(3)津市美里町家所2557番地の2

(1)愛サポート(2)太田浩美(3)津市一志町波瀬4974番地

(平成21年10月10日～平成21年11月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

パブリク(平成21年10月9日)

コーケン(平成21年10月16日)

みえのえみ(平成21年10月21日)

グリーングラス・みえ(平成21年10月22日)

環境Re機構(平成21年10月28日)

(平成21年10月10日～平成21年11月9日届出分)

みえ市民活動ボランティアセンター からお知らせ

問い合わせ先 みえNPOセンター・ワーカーズコープ
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net

NPO無料よろず相談

毎回二団体先着順のため、相談日の一週間前までにお申し込みください。

●とき／毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日) (1) 10:00～11:00 (2) 11:00～12:00 【今後の予定:2009年12月1日、2010年1月5日、2月2日、3月2日】

●ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター

●相談員／みえ県民交流センター指定管理者 みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表 みえNPOセンター代表理事、同事務局長

●対象／NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき／12月16日(水)13:30～16:30

【交流会】●とき／平成22年1月12日(火)13:30～16:30

イベントスケジュール

シニアボランティア体験講座

料理で地域を元気にする!

●とき／【第1回】11月29日(日)16:00～19:00

【第2回】12月13日(日)7:00～12:00

【第3回】平成22年1月10日(日)7:00～12:00

【第4回】1月30日(土)13:00～15:00

●ところ／【第1・4回】津市市民活動センター(津センターパレス3階)【第2・3回】きっさ「いずみ」(星ヶ丘団地集会所)

●参加費／無料(実費は個人負担)

●内容／星ヶ丘団地集会所で毎月第一日曜日、地域の方のためにモーニングのサービスをボランティアで行っている、きっさ「いずみ」。本企画は、地域と料理をテーマに、きっさ「いずみ」で

体験実習をし、地域で愛されるボランティアになる講座です。

●募集人数／先着20人

●申込・問い合わせ先／(特活)津市NPOサポートセンター

Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201

E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

日本語ボランティア養成研修

●とき／12月4日、11日(金)13:30～16:00

●ところ／鈴鹿市文化会館(鈴鹿市飯野寺家町810)

●参加費／無料

●内容／【4日】「日本語ボランティアになるために」地域の日本語教室や日本語ボランティアの重要性、役割、求められるものなどを学びます。講座を通じて「異文化を理解」しましょう。

【11日】「日本語指導のいろは」は「日本語」と「国語」のちがひ、日本語指導の特徴などを学びます。日本語を教えるためのドリルを作ってみよう!

講師は国際交流センター日本語教師養成講座講師の船見和秀さんです。

●応募締切／11月30日(月)

●申込方法／Fax、E-mail、Tel、郵送にて下記まで。

●申込・問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団 514-0009

津市羽所町700 アスト津3階 Tel.059-223-5006

Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp

ホームページ <http://www.mief.or.jp>

川づくり会議みえ 第40回勉強会

「いし川をつくるため、みんなを川に連れていこう!」

●とき／12月5日(土)14:00受付 勉強会14:30～16:30

意見交換会17:00～

●ところ／アスト津3階 イベント情報コーナー

●参加費／勉強会100円(資料代)、意見交換会3000円

●内容／勉強会では水辺で観察会をするときの「コソとノウハウ」、「希少な生き物への配慮」の勉強会を行います。講師は三重県農水商工部の竹内泰介さん、三重県教育委員会の西村和也さん。意見交換会では、今年一年の活動を振り返ります。

●応募締切／11月30日(月)

●申込・問い合わせ先／川づくり会議みえ

Tel.090-5637-0727(久世) Fax.0598-42-8078

E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

ウィンターフェスタ2009

●とき／12月5日(土)10:00～15:00

●ところ／津市まん中交流館(津センターパレス地下1階)

●参加費／無料

●内容／日頃、交流館を使って練習している団体、サークルがその努力の成果を披露する発表会、作品展示などを行います。合わせて三重県下の特産品を扱った物産展も開催。

●問い合わせ先／津市NPOサポートセンター事務局

Tel.059-213-7200

●主催／津市NPOサポートセンター、津市物産振興会、津市

ありのままに歩きだそうvol.7 交流会&講演会 ～ありのままこの街で暮らしたい～

●とき／12月5日(土)13:00開場 13:30～16:00

●ところ／津市ポルタひさいふれあいセンター多目的研修室

自分がそだち 人がそだち 組織がそだつ

県内各地の市民活動(支援)センターをはじめ、中間支援組織の人材育成を進めるための情報を積極的に発信するコーナーを設けました。

【無料】～補助金・助成金の「初」獲得に向けて!～ 書き方比較「取れる申請」と「取れない申請」の違い

●とき／11月30日(月)18:30～20:30

●ところ／松阪市市民活動センター
(松阪市日野町788カリヨンプラザ3階)

●参加費／無料

●内容／今後、補助金の申請をしてみようとお考えの方や、
何度かチャレンジしているが獲得できないという方に向けて、
申請書の「良い書き方」と「悪い書き方」を見比べながら解
りやすくお伝えします。講師は、前田辰之さん((株)OASES
代表取締役)。市民活動団体やボランティア団体の財源確保
に向け、お役立てください。

●申込方法／「補助金獲得講座参加希望」と住所、名前、Tel、
Fax、E-mailを記入し、FaxかE-mailで申込み。

●申込・問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当／米山)

Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803

E-mail info@m-bridge.jp

ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

(近鉄久居駅前ビル3階)

●参加費／無料

●内容／ここを病んでしまったり、脳の病気でふつうのくらし
ができなくなってしまった方たちの声をきいてみませんか?
精神障害当事者バンドによる演奏でオープニングを迎えた後、
第1部は精神障害当事者による体験発表。

第2部は、塚本正治さんによる講演。

●問い合わせ先／(財)反差別・人権研究所みえ

Tel.059-233-5525

(特活)ピアサポートみえ Tel.059-213-9577

●主催／三重精神障害者連絡会(ありのままクラブ)、(財)反差
別・人権研究所みえ

第⑨回 いのちの教育講演会

●とき／12月12日(土)13:00開場 14:00開演

●ところ／四日市市文化会館第3ホール

●参加費／1000円

●内容／「どう活かす わたしのいのちー人生のテーマは何で
すかー」をテーマに臨済宗妙心寺派龍源寺住職の松原哲明さ
んにお話しいただきます。

託児(300円)はお早めに申込んでください。

●申込・問い合わせ先／三重いのちを尊重する会

平松 Tel.090-5451-8757

高倉 Tel.090-2922-8567

フリーマーケット in 四日市ドーム VOL.32

●とき／12月13日(日)10:00～16:00

●ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)

●入場料／当日券525円、前売券315円、小学生以下は無料

●内容／フリーマーケット700ブース、飲食ブース8ブース、
企業ブース6ブース。テレビに出演した地元三重のスーパー

ワードチラシで勝ち残る ～知らないと損するスゴワザ講座～

●とき／12月6日(日)、12日(土)13:00～16:30

●ところ／あつピア(津市地域情報センター)IT研修室

●参加費／一般3500円、会員2500円

(資料、USBメモリつき)

●内容／NPOの運営に必要な広報のコツがワードを実際に
操作しながら、少人数で、わかりやすいテキストを使って学べ
ます。対象はチラシづくりの経験があり、ワードの文字入力
がスムーズにできる方で、原則として2回とも参加できる方
です。

●募集人数／先着10人

●応募締切／12月3日(木)22:00

●申込方法／申込者の氏名、所属、住所、Tel、E-mailをTel、
Fax、E-mail、または来館で下記まで。

●主催・申込・問い合わせ先／(特活)津市NPOサポートセン
ター 514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3

階 津市市民活動センター Tel.059-213-7200

Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

本コーナーへの情報は原稿の体裁にして「人材育成コーナー情報」と明記のう
え、毎月10日までにcenter@mienpo.net 宛にデータでお送りください。

キッズドラマー“KenT”と浪速のスーパーキッズギタリスト”竜
之介“スペシャルミニライブ。MamaO'ianaのフラダンス。
ウルトラビンゴゲームなどのほか、からくたモノ楽市を我楽の
会主催により開催。

●主催・問い合わせ先／(特活)MFA Tel.059-320-0133

Fax.059-320-0134 E-mail webmaster@mfa.gr.jp

ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>

●共催／レディオキューブFM三重

第39回 “はあぶ工房 Together” コンサート X'mas Gospel コンサート

●とき／12月13日(日)ティータイム 13:15～

コンサート14:00～ (コンサート終了後もティータイムあり)

●ところ／はあぶ工房 Together(陽だまりの丘)

●参加費／協力会員券2000円、小学生以下1000円(ケーキ
セット付き)

※事前に、工房にてお買求めください。収益金は工房の運営基
金にさせていただきます。

●内容／“はあぶ工房 Together”は、心の病・精神に疾患がある
人たちと共にハーブを無農薬・有機栽培し、その製品化と販売
活動を通して、社会参加と自立への道をめざしているNPO法
人です。

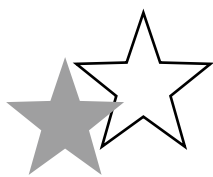
コンサートは大勢の方に“はあ
ぶ工房 Together”を知ってい
ただいて、直にふれ、理解してい
ただきたいという想いから企
画しています。今回はX'mas
Gospelコンサートとして、TRC
Vocal breezeの演奏と歌をお
楽しみください。

●問い合わせ先／(特活)はあ



クリスマス・お菓子作り教室

- とき／12月13日(日)13:30～16:00
- ところ／三重県総合文化センター
フレンテみえ1階「生活工房」
- 参加費／材料費の実費
- 内容／シュトレン(ドイツのクリスマスケーキ)と星形ケーキ、
三日月形のバニラクッキーなど、クリスマスのクッキーを作ります。
講師はドイツ人留学生を予定しています。
- 持ち物／エプロン、台布巾、皿布巾
- 応募締切／12月10日(木)
- 申込・問い合わせ先／向井明子 Tel.059-232-0594
E-mail am.deutsch1685@gmail.com
- 主催／三重日独協会



ワンプレートランチとケーキでクリスマス!!

- とき／12月14日(月)10:15受付 10:30～13:30
- ところ／四日市まんなか子ども劇場(四日市市西町15-16)
- 参加費／一般1500円、会員1200円
- 内容／人形劇団「ののはな」納
富さんの人形作りワークショップ、
ママによるハンドベルなど。
100円程度のプレゼントを持参
のこと。
- 募集人数／要予約・先着20組
- 申込・問い合わせ先／四日市ま
んなか子ども劇場
Tel.&Fax.059-351-6670



撮影講習 ～クリスマス、お正月でビデオが大活躍!～ 誰でも使えるプロの技で、もっと家族を上手に撮れる!

- とき／【初日】12月15日 【2日目】12月22日
【最終日】平成22年1月12日(全て火曜、全3回講座)
時間は全て14:30～16:00
- ところ／松阪市市民活動センター
(松阪市日野町788カリヨンプラザ3階)
- 参加費／3回で300円
- 内容／家庭用のビデオカメラは、ちょっとしたコツを知ると、
アツという間にプロ級の映像に!
講師はアイウェーブまつさか制作スタッフの駒田正司さん。
- 募集人数／20人(先着順)
- 申込方法／「ビデオ講座参加希望」と住所、名前・Tel、Fax、
E-mailを記入し、FaxかE-mailで申込み。
- 問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当/米山)
Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803
E-mail info@m-bridge.jp
ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

ライトミュージックフェスティバル(第21回LMF)

- とき／12月19日(土)17:00開場 17:45～21:00
- ところ／津リージョンプラザ・お城ホール(津市役所西隣)
- 参加費／前売1000円、当日1300円

- 内容／津駅地下道で10
年以上も弾き語りをしてい
る伝説の男が率いるロック
バンドや、14歳の三つ子が
中心の8人組ファミリーバ
ンド、四日市大学の学生4人
組の演歌系ロックバンド、白
子高校軽音楽部員で編成した
ロックバンド、東京での活躍を目指す女性ボーカリストが率い
るロックバンドなど、今回も、個性豊かなアマチュアバンドが熱
演を繰り広げます。
- 問い合わせ先／K-Net(三重県軽音楽振興協議会)事務局
Tel.0598-42-6656
越山携帯(緊急時)Tel.090-3387-1836
津市スポーツ・文化振興室 文化振興課
Tel.059-229-3250
- 主催／ライトミュージックフェスティバル(LMF)運営委員
会、県民文化祭運営委員会、三重県、(財)三重県文化振興事業団
- 共催／津市



国際交流フェスティバル「ちがいを知り、楽しもう!」

- とき／12月20日(日)10:00～17:00
- ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター
- 参加費／入場無料、申込不要(お茶のみ100円実費)
- 内容／みえ県民交流セ
ンターの指定管理者、みえ
NPOセンター・ワークス
コープは、三重県国際化推
進事業の一環として、県内
の国際交流団体有志で実
行委員会を結成し、「ちがいを
知り、楽しもう!」をテーマ



に国際交流フェスティバルを開催することになりました。三重
県民の皆様へ国際交流団体の活動を知ってもらい、多文化共生
社会への理解を深めていただく機会とします。

【ライブ&ショーを楽しむ】

外国の歌や、ダンス、日本人市民グループによる二胡の演奏、マ
ジックの披露など

【見る・買う・食べる】

市民団体のパネル展示による活動紹介やインドカレーとナン、
ボリビアチーズ入りパン、世界のカップラーメン、ジュース、など
販売します。

【異文化体験する】

お花、お茶、書道体験をはじめ、日本の着物やチャイナドレス、ア
フリカ民族衣装など民族衣装の試着があります。

【知る・交流する】

フェアトレードのお茶を楽しみながら、交流しませんか!

10:00～12:00 おしゃべりサロン

国際結婚カップルによるトーク。地域で発見したこと、体験し
たこと、本音トークをお楽しみに!

13:00～16:30 地域の国際化セミナー

日本語教室や海外NGOの活動紹介を通して、外国と日本のつな
がりやそこに生きる人たちのことを考える機会にしませんか。

●問い合わせ先／みえNPOセンター・ワークスコープ

Tel.059-222-5995

E-mail center@mienpo.net

よびかけ 報 告

パニック障害、摂食障害、強迫性障害、
気分障害の当事者とそのご家族の方

グループミーティングをしませんか？

悩みや問題を抱えて、日常生活に生きづらさを感じていませんか？
悩みを抱えた人たちのグループであなたの悩みや問題を語り合
い、わかりあいませんか？

- とき／12月18日(金)14:00～15:30
- ところ／白子コミュニティセンター実習室(鈴鹿市江島本町)
- 参加費／無料
- 問い合わせ先／自助グループSalon de "TRUE BEAUTY"
(代表:小林暁美) Tel.090-8953-6444(平日10:00～17:00)

明和町立図書館

ボランティアをはじめませんか？

週1～月1回程度、継続的に活動できる方を求め
ています。業務は本の整理、壁面の季節のかざ
りつけ、本の紹介カードの作成などです。

- とき／火曜10:00～11:00、土曜・日曜10:00
～17:30のうちの1～2時間程度。
- ところ／ふるさと会館(明和町立図書館)
(多気郡明和町馬之上944-2)
- 申込・問い合わせ先／めいわ市民活動サポートセンター
Tel.0596-52-7129(平日9:30～15:30)



助成金 情 報

高木仁三郎市民科学基金

【国内の個人・グループへの調査研究助成】

- 受付締切／12月10日(木)当日消印有効
 - 助成の対象となる団体／「市民科学」をめざす方であれば、資格等の制限はありません。一般の市民や市民グループも対象。
 - 助成の対象となる活動／「市民科学」にふさわしい調査研究や、その調査研究と密接に関係するワークショップ・シンポジウムなどの開催費、調査研究の成果発表や政策提言活動等にかかわる諸費用等。
 - 助成の額／1件あたり上限100万円。
 - 応募方法／ホームページから応募フォームをダウンロード。出力書類を郵送すると同時に、入力済みの応募フォームをE-mailで送信。書面での申込書(当日消印有効)を正本とし、E-mailのみの発信は認めません。
 - 問い合わせ先／高木仁三郎市民科学基金(事務局:菅波 完)
160-0004 東京都新宿区四谷1-21 戸田ビル4階
Tel.070-5074-5985 Fax.03-3358-7064
E-mail info@takagifund.org
ホームページ http://www.takagifund.org
- ※【国内の個人への研修奨励(研修・留学などへの助成)】もあわせて募集中。
詳細はお問い合わせを。

ハウジングアンドコミュニティ財団 住まいとコミュニティづくり活動助成

- 受付締切／平成22年1月15日(金)必着
- 助成の目的・対象期間・助成の額／【一般助成】
年度を単位とした活動を支援するもので、1年間(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の活動を助成。継続して助成することがありますが、この場合も各年度ごとにあらためて申し込み、選考を受けることとします。1件あたり100万円上限。
- 【特別助成】
サービスを提供しその対価を得るなど、いわゆる事業化(事業性の導入)により活動の発展を図ろうとしている団体を支援するもので、原則として2年間(平成22年4月1日～平成24年3月31日)の活動を助成。ただし、年度ごとに継続助成が適当かどうかの評価を当財団で行います。1件あたり各年度100万円上限。
- 助成の対象となる団体／営利を目的としない民間団体(特定非営利活動法人もしくは任意団体)。
- 助成の対象となる活動／住まいとコミュニティづくりに関わる次のような分野についての活動。コミュニティ施設の提案・創造。住環境の保全・向上。地域の防災・防犯。入居者参加の住まいづくり。その他、豊かな居住環境の実現につながる活動。
- 応募方法／申込書等はホームページからダウンロード。電話での取寄せも可能。
- 問い合わせ先／(財)ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)
107-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階
Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823
ホームページ http://www.hc-zaidan.or.jp/

障害者市民防災活動助成

- 受付締切／常時募集中
- 対象活動／障害者市民防災活動とは、障害者市民が災害にあったとき、避難行動や避難生活がスムーズに行われるための活動、支援を有効に行なうためのネットワークづくりなど、次のような活動。詳細はホームページ参照。
- 1. 障害当事者が中心となる防災活動(避難所・避難行動体験や啓発・学習活動)
- 2. 防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークがつくられ、日常の活動にもつながる取り組み
- 3. 災害時に障害者支援を行うための具体的な仕組みづくり
- 4. 障害当事者の声を反映した防災の研究活動
- 助成の額／1回10万円を限度とする。
- ※単年度(1月～12月)で助成額が100万円に達した場合は、その年度の助成申請締切。
- 応募方法／申請書を郵送、Fax、E-mailのいずれかで送付。
- 問い合わせ先／(特活)ゆめ風基金事務局
533-0033 大阪市東淀川区東中島1-14-1-108
Tel.06-6324-7702 Fax.06-6321-5662
E-mail yumekaze@nifty.com
ホームページ http://homepage3.nifty.com/yumekaze/bousai_shien.htm

おねがい

- 市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下の
ことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。
- (1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日ま
でにお送りください。
- (2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティ
アニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。
- E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971
- 転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ
NPOセンター・ワークスコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として
最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、
ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: http://www.miebank.co.jp



三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許可可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

増えていく活動の柱

……いせコンビニネット(以下、「コンビニネット」と略)のミッションについて教えてください。

伊東/活動内容は大きく分けて3つあります。まずはIT普及。約10年前、伊勢青年会議所(以下、「JC」と略)時代の仲間三人でコンビニネットの前身を立ち上げました。

……発起人は?

増川/私です。自分たちが無理なく継続できることで何かできないかと考えた時、思いつきました。

私たち自身、パソコンを覚えられたのは、身近にいつでも質問できる人がいたから。気軽に質問できる先生というか、場所を作ればコミュニティが生まれ、まちの活性化になるだろうと。

伊東/この時、基本方針として考えたのが“グローバル”。インターネットはグローバルな情報が即時に得られるのが利点ですが、我々は日々の生活で使える情報を得られるようにしたいと考えました。そのためにはホームページを作って、身の回りの情報発信ができる人を増やさなくてははいけません。そこで、パソコン初心者向けに電子メールやワードの使い方から、ホームページの製作までの講習会を行いました。

7、8年前には市や県でもパソコン講習会への助成があり、我々の仲間も伊勢市で開催された講習会の4割程度を受託しました。

それが終了して、せっかく覚えたのに自宅にパソコンがないために使い方を忘れてしまう人や、トラブル・質問に答える必要があると感じたので複数のサークルを作って、フォローアップを続けました。

増川/当時、講習会を行っていた団体で今も残っているところは少ないのですが、それはある程度パソコンに習熟すると、次にやりたい方向性が違ってきて、分裂してしまうから。

いせコンビニネットの場合は、ホームページ作成やデジタルカメラなど、分野ごとにサークルを作って活動しています。なかにはパソコンなんでも屋相談サークルみたいなものも。これなら自分の興味のあるサークルを選んで参加できるでしょう。

……2つ目は?

伊東/いせ市民活動センターの指定管理者が、今年で5年目になりました。個人的には設立準備委員会の座長としても関わりました。いろいろなNPOから20人ぐらい集まって、「どんなセンターにしたいか」毎月、討論会を行いました。

最終的にセンターの10年計画を作り、行政に対して政策提言をできるようにNPOを育てたい、それをフォローできるセンターにしたいと意思をまとめました。

……センターの責任者は理事ですか?

増川/私たちは会社を経営しているため、実質的な運営はできないと思い、別の市民活動団体のメンバーだった浦田くんをセンター長とし



パソコン講座

てスカウトしました。現場大好きな浦田君とスタッフが実働部隊として動き、理事3人は企業系というか企画部隊。組織として上手くいってます。

伊東/浦田君は人がいいから、頼まれると何でも引き受けちゃう。オーバーワークだよ(笑)。

浦田/理事がフォローしてくださるので、安心の上で好き放題させてもらっています(笑)。

伊東/指定管理業務だけでは赤字なので、行政の委託事業を受けて、収益を上げています。これが3つ目。

現在の中心は、厚生労働省から受けた若年就労者の就労支援。俗に言うニートの就労支援です。浦田君が以前から取り組んでいるカウンセリングを活かすことができるので、チャレンジしたところ、最初の年は落選。翌年、再チャレンジしたところ見事通って、平成20年6月から「若者サポートステーションいせ」(以下、「サポステ」と略)を運営しています。

実はこの流れで4つ目の柱が生まれてきています。ニートの子たちの就労支援をしているうちに、問題を抱えているけれど、問題があっても根はすごく優しい彼らには農業が向いているということがわかってきました。そこで平成21年度NPO活動基盤強化事業に「若者自立サポート人材養成・活動基盤整備モデル事業」を提案し、選定されました。この助成で、ビニールハウスを作り、3年後には水耕栽培プラントを立ち上げます。現在は水耕栽培の研修を受けると共に、露地栽培をしながら農業に慣れ、収穫の喜びを得ています。

……なぜ、水耕栽培なのですか?

伊東/稲作などは一年のうち、忙しい時期に限られてきますが、二十四毛作できる水耕栽培なら、複数植えることで毎日、9:00~17:00まで働けますからね。

収支を意識したNPO運営

……活動内容が多様化していますが、変わりながらも続いてきた秘訣は?

伊東/崇高な理念がなかったから(笑)。だからこそ、時間の流れ、世界の変化に合わせて、活動をふくらますることができた。私たち理事はJCを通して、まちおこし活動をしていたので、最終的には全てをそこに結びたいと思っています。そこと、何にでもチャレンジしていこうという部分は昔から変わりません。

……理事が3人というのは少なくないですか?

伊東/意思の統一が図りやすいので、少数精鋭で良いと思っています。それに3人なら1人欠席しても理事会は成立します(笑)。

ただし、会員はどんどん広がっていきますし、報告もきちんとしていますから独裁制ではありませんよ。

……会員数は?

増川/正会員は14名。サークル参加者など賛助会員が60名程度です。



崇高な理念が無かったから(笑)。だからこそ、時間の流れ、世界の変化に合わせて、活動をふくらますことができた。

……指定管理者やサポステなど、経営規模も大きいと思うのですが？

伊東／農業やサポステは1000万円を超える事業ですね。その規模になると重い責任を感じます。ただ、うちの強みは理事がそれぞれ会社経営者だということ。法人化して今期で8年目ですが、決算報告で赤字を出したことは一度もありません。

各事業の収支がどうなっているか一目でわかるよう、事業ごとに通帳も分けています。

増川／決算書も本部事業と指定管理者、サポステの3種類を作ります。

……雇用について、どう考えていますか？

伊東／日本ではNPOで人材を雇用できにくい状況が全盛ですね。私は平成8年頃、アメリカのNPOを見学に行ったのですが、アメリカは企業がNPOに対して大規模な資金を提供しています。見学に行ったフードバンクというNPOでは収入が行政、企業、教会からの寄付で成り立っていました。日本でもその辺りを改革して欲しいと思っています。

増川／パソコン教室を始めた当初から1回500円の参加費をいただいて、講師に謝礼を出すようにしていました。高額ではありませんが、教室の後、お茶を楽しめる程度はお渡ししたい。そうでないと継続していけません。

理事責任としての運営経費確保

……有償であることを意識し、社会に発信することは必要だと思います。他に意識していることは？

増川／私たちの活動を知り、支援をいただきたいと、マイクロソフトなど大企業に活動をPRしています。

伊東／大企業では社会貢献部まであり、一口30～50万円という助成や寄付が当たり前にあります。年数回ですから積極的ではありませんが、担当者にお会いして、今後に繋げています。

増川／東京出張のついでに、寄ってもらって(笑)。

伊東／「どれだけマスコミに露出したか」など、大企業はメリットにもシビアですが、続けていけば、日本の税制が変わり、高額な寄付を受けられるようになった時、時流にサッと乗れるでしょう。

増川／我々も企業人ですから、寄付をいただく以上は対価というか、なんらかの企業メリットを考え、そういう提案をしています。

伊東／助成金などの申請書類もブラッシュアップしていますよ。NPO活動基盤強化事業の時は、10年間の事業計画に、銀行の融資証明までつけてプレゼンテーションを行ったところ、審査員から「そこまでやれるなら、助成はいらないでしょ」と言われてしま

いました(苦笑)。

……逆に苦勞なことは？

伊東／事業受託の場合、お金をいただけるのは事業開始後、半年ぐらい経ってから。でも、その期間もスタッフにはお給料を払って行かなくてははいけませんから、最終的には理事で立て替えています。

……銀行などから借入れもできるでしょう？

増川／できますけど、しません。何かあった時は、理事責任。

伊東／自腹を切っている状況だから、目が行き届く。

増川／農業の場合は私たちの他に出资者を募りましたが、その分、納得してもらえただけの事業計画を立て、きちんと説明しました。

……会社経営とNPO経営の違いは？

増川／大手ならまた違うかもしれませんが、中小企業運営とNPO運営は似ていると思います。

伊東／営利か非営利か。あと、専門分野を掘り下げて、強い組織を作るのが会社。年単位で事業が無くなる可能性があるNPOとはそこが違いますね。

増川／受託事業や助成が無くなっても、スタッフを辞めさせるわけにはいきません。自分たちで収入を得て、安心して経営できる形をつくらなくては。

伊東／行政が指定管理者を民間に委託するのは、人件費など経費が安くなるから。更新公募ごとに経費を削られる可能性もあります。伊勢市の場合、1回目に指定管理者になった時の経費ではスタッフに社会保険をかけることができませんでした。そこで、2回目に公募があった時、そのことをお話しし、社会保険を要望したところ、受け入れてもらいました。

私たちは良いサービスを提供する努力は常にしています。だから、安さだけでなく、内容を比べてもらいたい。もちろん、この要望が出せたのは担当部署と良い関係を築いているから。忘年会や歓送迎会などで交流を図り、気軽に話し合える関係ができています。

……NPOを設立運営して、思うところは？

増川／私がJCを卒業する時にNPOを作ったのですが、それはJCとはちょっと違う人のネットワークを作りたかったからです。当時は、「法人設立しないとNPO活動はできないのかな？」と思うほど、知識がありませんでした。人との繋がりを作ろうと思ったのは、失業した時にさまざまな活動をしていた時の仲間に助けられて、人との関係を考えさせられたから。失業経験は就労支援にも役立ってますね(笑)。

伊東／赤字を出さないシビアな運営にも、彼のその経験が繋がっています(笑)。

私たちがITに固執していたら、今のような状況はなかったと思います。ミッションや活動内容に縛られず、大きな視点でまちづくりを見、その陰に「人に喜んでもらいたい」という気持ちがあったから、今があとだと思います。

【データ】

三重県伊勢市前山町1522-39

Tel.0596-20-8315

Fax.0596-20-8316

E-mail info@e-ise.net

ホームページ <http://www.e-ise.net>

●代表者 伊東俊一

●団体設立年月日 2001年4月5日

●NPO法人化年月日 2001年4月5日

●会員数 正会員14名・賛助会員41名

●年会費 正会員6000円・賛助会員1000円



「若者サポートステーションいせ」オープン

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

NPOと行政

NPOと行政との関係といっても、行政とおつきあいのないNPOもあれば、行政と組まないで公益的な活動を行っているNPOもあり、行政と協働することだけが社会変革に繋がるということではありません。行政側も協働がすべてになりがちですが、あくまでも1つの側面に過ぎないことと捉えて両面から見ないと、かたよってしまうことになりかねません。

行政といっても国、県、市町と、NPOにとってはそれぞれとの距離感も違えば、日常の関係性やかかわりの密度も異なります。ここ10数年来、NPOと行政の役割の違いもお互いにやりとりをする中でだんだんと双方の仕組みや成り立ち、組織文化の違い、役割の違いを理解できるようになり、さらにはお互いに自らをふりかえり、あり方を見直さざるを得ないようになってきました。

NPOが行政にさまざまなことを提案することで、双方が刺激を受けて変わるきっかけとなります。地域を変えるには施策を変えないと変わりません。まだまだ道は遠く、険しいものと思われま。しかし、徐々にその兆しが見え始めてきました。

その1つが、国で始動しはじめた新たな動きです。政府の行政刷新会議では2010年度予算概算要求の無駄を洗い出すための事業仕分け対象事業が選ばれ、11月11日から仕分け作業が始まりました。事業仕分けの結果、廃止事業や外郭団体の見直し、削減金額などがマスメディアを賑わしていますが、それよりも税金の使い道への透明性を明らかにする意味での象徴的な出来事といえま。しょう。

補助金・助成金・委託事業などを通じてNPOと行政が接する場合、ともすると金額の多寡に目がいきがちですが、いずれも公共的な事業を担い、税金を使っているという意識をNPOは忘れてはなりません。透明性という意味ではNPOも同じです。NPOの場合、会員や企業など外部からの寄付金や税金を使う以上、どういう成果を挙げるのかが問われるのは当然のことながら、自らのあり方も問われることとなりま。しょう。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 ●松阪市●松阪市市民活動センター/三重中京大学 ●伊勢市●いせ市民活動センター/皇學館大学 ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●志摩市●志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター ●名張市●名張市市民活動支援センター/エコリソート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター ●伊賀市●伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 ●尾鷲市●東紀州コミュニティデザインセンター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル一光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県栄町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうさん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

270 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。